

政府新成長戦略の基本方針

政府が昨年12月30日に閣議決定した新成長戦略の基本方針では、「需要からの成長」として、環境、健康、観光の3分野で32年度までに100兆円以上の需要創出を目指している。このうち環境分野では、住宅・オフィスなどのゼロエミッション化や、エコ社会形成に向けた集中投資事業などにより、50兆円以上の新規市場と140万人の新規雇用の創出を目指す。

100兆円以上の需要創出へ

今回の戦略は、公共事業や、規制緩和・労働市場の自由化などの市場原理を活用した経済成長ではなく、新たな需要の創造による雇用創出に主眼を置いている。

今後、「需要効果」「雇用効果」「知恵活用」の観点で目標・施策を深掘りし、新たな施策を追加して6月ごろまでに戦略を最終的にまとめる。併せて、22年中に実行する「早期実施事項」や、4年間程度で実施すべき事項と成果目標、32年までに実現すべき成果目標などを盛り込んだ成長戦略実行計画(工程表)を策定する計画だ。

環境分野では、「グリーン・イノベーション」(環境エネルギー分野革新)による環境・エネルギー「大國戦略」として、電力の固定価格買取制度の拡充などによる再生可能エネルギーの普及▽エコ住宅、ヒートポンプの普及による住宅・オフィスなどのゼロエミッション化▽蓄電池や次世代自動車、火力発電所の効率化など、革新的技術開発の前倒し▽規制改革・税制のグリーン化を含む総合的な政策パッケージを活用したエコ社会実現に向けた集中投資に取り組む方針だ。

具体的には、ヒートポンプの普及拡大や、LED、有機ELなどの次世代照明の100%化などでゼロエミッション化を進め

る。特に家庭部門でのゼロエミッション化を実現するため「環境コンシェルジュ制度」を創設し、各家庭にアドバイザーを。また、都市計画や都市再生・再開発の在り方を、環境・低炭素化の観点から抜本的に見直し、温室効果ガスの排出が少ない「緑の都市」化を目指す。老朽化して温室効果ガス

の排出や安全性に問題があるオフィスビルについては、再開発や建て替え、改修を促進するための規制緩和や支援を行う。エコ社会の形成は、再生可能エネルギーやエネルギーを効率よく伝えるスマートグリッドの構築、適正な資源リサイクルの徹底、情報通信技術の活用などで支援する。

金属屋根工事技士

3月13日に試験

日本金属屋根協会は、21年度「金属屋根工事技士」技術審査受験申し込みを2月13日まで受け付けている。審査料は1万8000円で、試験は3月13日、福岡など5地区で実施する。

金属屋根工事技士は、一定の実務経験を積み金属屋根工事に関する専門知識を習得した後に同技

工事現場安全スローガン

来月26日 優秀賞は3万円

まで募集

氏名、電話番号、標語(15文字程度)を記入の上、ファクスで受け付けて受け付け

2月26日まで

応募可能。

人何点でも

問わず、1

応募資格は

を募集する。

2点(賞金3万円)、同協会員が施工する工事現場の懸垂幕などに用いる。

申し込み、問い合わせは、同協会(☎099-224-5220)

3月の選考会で入賞者を決定し、22年度安全賞(9)まで。

佳作2点(同一万円)。

224・5220

224・5220

3月の選考会で入賞者

FAX227・547

を決定し、22年度安全賞(9)まで。

一般廃棄物処理基本計画 再利用を推進へ

鹿児島市は、ごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画で構成する一般廃棄物処理基本計画が21年度末に期限切れとなることから、次期計画(22-31年度)の策定を進めている。パブリックコメント(10月5日から11月4日)では、34人が11件の意見を寄せ、「燃やせないごみや粗大ごみ(使用可能なもの)の再利用」など2件を計画に反映させる。

これは、建設現場などで行う指差呼称・確認や危険予知活動に通じるものがある。これからは健康づくりを兼ねて審査を続けていきたい。(県建設業協会労務部長)

ごみ排出量は、施策実施後の推計を見ると、22年度21万7266t。31年度に18万9556tを推計し、基準年度(20年度)に対し13%削減する。資源化率は、22年度18.1%、26年度19.9%、31年度22.6%を設定。最終処分場への搬入は、ごみの減量化や資源化の施策を進め、31年度に2万2279tまで削減する。

意見の処理区分を見ると、計画案に反映2件、盛り込み済み71件、盛り込まない5件、その他要望・意見等33件だった。

川内駅西口駐車場

来月26日まで

使用者を募集

まちづくり薩摩川内(株)まちづくり薩摩川内は、川内駅西口駐車場と西口第2駐車場の月極使用者を募集する。使用料は月額5000円。申し込みは2月26日まで受け付ける(希望者多数の場合は抽選)。

申し込み、問い合わせは、同社(☎0996-22-6110)まで。

「魂」込めて



木陰 堤 博志

高校野球の審判員を志していた職場の先輩の紹介により、「40の手習い」で野球の審判を始めて20年ほど経つ。

野球の審判員は、1級とか2級とかの資格制度ではなく、いわば技能講習により養成されるが、「やる気、やる気、その気」が必要である。審判のしる字も分からないままに受けた最初の講習で「グラウンドでは走る」と教えられたため、選手に負けまいと心に動か

審判員には、大きな声とメリハリのあるジェスチャーが求められる。アウトは、右前腕部を上腕部に対して直角に立て、握りこぶしに魂を込めて3人

を水平に広げ、指先に魂を込めて「大の字」をつくる。いずれもカッコ良くピシッと決めることが大事である。

主審のときは、「ストライク・ボール」の判定のため、捕手の後ろで今とところ腹囲は80cmを維持し、血圧も「セーフ」の状態である。しかし、「ボール」の判定で捕手が後ろを振り向いたり、「ストライク」に打者が後ろを振り向いたりしたら心臓に悪い。

審判に当たっては、次のプレーを予測(ポーズ)、起り得るプレーを以て(リード)、そのプレーに対して動く(リアクト)ことが正しい判定につながる。

これは、建設現場などで行う指差呼称・確認や危険予知活動に通じるものがある。これからは健康づくりを兼ねて審査を続けていきたい。(県建設業協会労務部長)

称で「ヒズ・アウト(彼はアウト)」。セーフは、足を伸ばし両手で

ろで両チームの投球数以上のスクワットをすることになる。また、

必要な情報を必要な時に! 入札情報・企業情報・予算情報・建設情報・記事... etc

速くて豊富な情報 あなたのネットワークを広げる

今日発表された入札情報や試験合格者が今日見られる便利さ。あなたのパソコンで、ぜひお試しください。

建設情報のトップランナー

Kiss Web

■お問い合わせ TEL.099-222-6123 FAX.099-222-6145

只今 無料体験 実施中!

URL <http://www.kc-news.co.jp>

建設ニュースが満載!